

園の自己評価 2025(令和 7)年度

- 子どもの最善の利益を考慮し一人一人の人格を尊重する保育をめざした。
- 子どもの成長は個々それぞれなので支援が必要な家庭には登降園時にこまめに話をしたり必要なときには面談を行い信頼関係を築くことができた。
- 日々の様子はモニターで知らせることで園での活動風景や子どもの表情・友達と遊んでいる様子などを伝えられた。
- 施設の衛生管理・環境美化につとめ常に整理整頓が身についていると感じる。
- 安全管理に努め危険箇所等を察知した際には早急に対応した。
- 子どもの権利条例が制定され、園としても子どもが自分らしく健やか育つよう環境づくりなどに努めていきたい。
- 保育士の人数が確保出来ず園児の受け入れが定員を満たせなかった。
- 園舎(テラス)の修繕工事を行い、折り戸をつけることで暑さ・寒さ対策を施し安全で過ごしやすい空間ができた。